

# 地方都市視察報告書

福祉健康委員会

## 1 実施日

平成29年10月27日（金）

## 2 視察地 京都府京都市

### 【市の概要】

(1) 面積 827.80 km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数（平成29年7月1日現在）

人口 1,416,627人

世帯数 707,944世帯

(3) 京都市は、世界的にも有名な文化観光都市であり、大阪、神戸と並んで近畿圏のいわゆる「3都」の一つに数えられている。政令指定都市の中では、全国第8位の人口規模（平成29年5月現在）を有している。

明治時代になるまで約千年もの間、天皇家、公家が居を構え、「千年の都」と呼ばれ、政治・文化の中心として栄えてきた。江戸時代には全国に製品を出荷する商工業都市として栄え、多くの伝統工芸や産業、文化が発達した。その系譜は、日本の先端技術を保有し、各業界トップクラスの多くの企業の本社が集積するなど、現代まで脈々と続いている。

戦災による被害を免れた寺社・仏閣、古い史跡・街並みが数多くあり、様々な歴史文化や季節ごとのお祭りなど、四季折々の観光資源が豊かで、国内外から多くの観光客を魅了してやまない観光都市であるとともに、京都大学をはじめ多くの大学が集積し、国内外から学生や研究者が集まる学術研究都市という一面もある。

## 3 視察項目・内容

(1) 民泊対策について

## 4 視察参加者

### 【委員】

豊島 あつし委員長 吉住はるお副委員長 三沢 ひで子委員

三雲 崇 正委員 渡辺 清 人委員 鈴木 ひろみ委員

近藤 なつ子委員 田中 のりひで委員



## 【随行】

議会事務局次長 下 杉 正 樹  
議事係 佐 藤 公 彦

### 5 視察結果・所感

民泊対策については、先駆的な取り組みを行っている京都市とは本区も条例制定にあたり、職員間での交流は従前からあったが、議会の委員会視察として訪問したのは今回が初めてであった。

率直に申し上げると、国際観光都市の先達として、京都市からは学ぶべきところが多いと感じた。「観光施策の推進」と「住民生活の環境確保」の両立については、本区においても今後、様々な課題が発生してくると思われる。その際、今回の視察で説明を受けた、旅行業者を上手に活用した民泊の実態把握調査の実施など、様々な工夫を凝らした上で、自治体としての方針・あり方を示していくことが重要である。今後も本区が京都市と交流を続け、実効性のある民泊対策が行われることを希望し、議会としてもその動向を注視していきたい。

### 6 主な質疑項目

- (1) 住居専用地域における観光オフシーズンの1月・2月閑散期時の民泊ルールについて
- (2) 苦情処理、実態把握に基づいた民泊対策の条例制定の考え方について
- (3) 民泊事業者に町会・自治会への加入や地域活動への参加を求める趣旨について
- (4) 民泊対策の条例制定までのスケジュールについて